中華民國二十五年七月初版
中華民國二十五年七月五版

版權所有
不准翻印

假名漢字 日華兩用辭典（全一册）

實價國幣
（外埠酌加運費匯費）

編譯者 周融 周萍

發行者 陸高誼（世界書局有限公司代表人）

出版印刷者 世界書局（上海大連灣路）

發行所 上海及各省 世界書局

本書負責校對者 何澄波 周莊萍

引言

本書係以芳賀矢一所著之新式辭典爲藍本，略加删削、編譯而成。凡原書中之古語僻字，概不採錄。又凡和漢解義相同而爲吾人所熟知之語，例如「政府」(せいふ)、國家(こくか)、官吏(くわんり)之類，亦不採錄，以免徒佔篇幅。本書語義解釋，白話文言並用，務求確切而無遺。語數之豐富，非日今坊間所見之日華辭典所可同日而語。然本書最大之特色，尤在其具有日華兩用之便利；凡見漢字而不知其讀法或見假名而不明其解義者，均可於本辭典中檢得之。又原書之組織，係將一切複合語——例如「ウラ・オモテ」(裏表)、「ウラ・ガキ」(裏書)、「ウラ・ゴシ」(裏漉)等是——排列於其主語——「うら」(裏)——之下，使翻檢者不待說明而能明其語源上之系統，此亦爲本書特點之一。茲就本書翻檢上必須注意之點分錄於後。

一　排列之順序：

1. 主語與主語之關係，悉依五十音圖之順序。
2. 主語下之合複語與複合語之關係，亦依五十音圖之順序。
3. 撥音「ん」，列於五十音之末尾。
4. 長音符號ー，列於「ん」之次。

二　詞類及術語之略語如左：

1. 詞類。

(名)名詞　(代)代名詞　(形)形容詞　(數)數詞　(動)動詞

(助數)助數詞　(助動)助動詞　(副)副詞　(接)接續詞　(助)助詞

(感)感歎詞　(分)分詞　(貌)貌詞　(首)首詞　(尾)尾詞

2. 術語。

〔法〕法學　〔經〕經濟學　〔醫〕醫學　〔生〕生理學　〔建〕建築學

〔文〕文法　〔哲〕哲學　〔論〕論理學　〔語〕語學　〔心〕心理學

〔佛〕佛教　〔理〕理學　〔物〕物理學　〔植〕植物學　〔動〕動物學

〔化〕化學　〔數〕數學　〔天〕天文學　〔地〕地理、地文

三、索引：

1. 假名發音索引：將主語全部及漢字音全部，依照五十音圖順序，以「表音假名遣」(現代化的標音法)排列之，同時將其「歷史假名遣」(固有的標音法)及漢字附於其下，並揭示其所在之頁數，俾在一目之下即可明瞭本書組織之大綱。

2. 漢字筆畫索引：將本書所收漢字之全部，依其筆畫之多寡，分類而排列之，於各字之下註明其音讀訓讀及難訓，並揭示其所在之頁數，使翻檢者有一舉而知其各種讀法之便。

發音索引

あ

あ 吾・我 一
あ 彼 一
あ 遇・會・逢 二
あ 足 一
あ 網 一
あ 亞 一
あ 鵞 一
あ 啞 一
あ 阿 一
あ 娵 一
あ 鴉 一
あ 鵝 一
あ 蛙 一
あ 嗚呼・噫・吁 一
あい 繼 一
あい 鶴 一
あい 真 二
あい 愛 二
あい 靉 二
あい 靆 二
あい 欸 二
あい 埃 二
あい 鞋 二
あい(あひ) 間 二
あい(あひ) 相 二
あい(あひ) 遇・會・逢 二
あい(あひ) 合 二
あい(あひ) 藍 二
あい(あゐ) 秋沙 二
あいさ 秋沙 二
あいしらう (あひしらふ) 三
あいす(あひづ) 會津 三
あいだ(あひだ) 間 三
あいだちなし 二
あいだてなし 二
あいつ 彼奴 二
あいなし 間無 二
あいにく 生憎 二
あいぬ 倭奴 二
あいの 二
あいま(あひま) 間 三
あう(あふ) 合 三
あう(あふ) 會・遇・逢・遭 三
あう(あふ) 繩 三
あう(あふ) 蠅 三
あう(あふ) 敢 三
あうち(あふち) 楝 三
あえ(あへ) 邂 三
あえ(あへ) 敢 三
あえぐ(あへぐ) 喘 三
あえしらう (あへしらふ) 三
あえて(あへて) 敢 三
あお(あを) 青 三
あおい(あふひ) 葵 三
あおぐ(あふぐ) 仰 三
あおぐ(あふぐ) 扇 三
あおし(あをし) 青 三
あおつ(あをつ) 煽 三
あおぬく (あふぬく) 仰 三
あおのく (あふのく) 仰 三
あおのく (あをのく) 仰 三
あおむ(あをむ) 青 三
あおやか (あをやか) 青 三
あおる(あふる) 煽 三
あか 赤 三
あか 垢 四
あか 明 四
あかお (あかを) 赤魚 五
あかがれ 銅 四
あかがく 足掻 四
あかざ 藜 四
あかし 赤・明 四
あかし 燈 四
あかし 證 四
あかし 明石 四
あかし 明 四
あかす 明 四
あかた 縣 四
あかつ 瘡 四
あかつき 曉 四
あがない (あがなひ) 贖 四
あがなう (あがなふ) 贖・購 四
あかれ 酒 四
あかばむ 赤 四
あかまる 赤 四
あかみ 赤 四
あかむ 赤 四
あがむ 祟 四
あからか 明 四
あからけし 赤 四
あからさま 四
あからむ 赤・緋 五
あからめ 五
あかり 明 五
あがり 上・揚 五
あかる 明・赤 五
あがる 上・揚 五
あかるし 明 五
あかるみ 明 五
あかんべい 五
あき 秋 五
あき 商 六
あき 明 六
あき 飽 六
あき 厭 六
あぎ 顎 六
あきうど 商人 六
あぎと 顎 六
あきない 六
(あきなひ) 商 六
あきなう (あきなふ) 商 六
あきの一 六
(あきなふ) 商 六
あきらか 明 六
あきらけし 明 六
あきらむ 明・諦 六
あきる 呆 六
あきんど 商人 六
灰汁 六
あく 懸 六
あく 啞 六
あく 幟 六
あく 握 七
あく 渥 七
あく 明 七
あく 飽 七
あく 厭 七
あぐ 上・擧・揚 七
あくがらす 七
あくがる 七
あくけなし 七
飽氣無 七
あくせく 七

あくぞもくぞ　芹藻屑　七
あくた　芹　七
あくたもくた　芹藻屑　七
あくたれ　七
あくたれる　七
あくどい　七
あぐれる　七
あくび　欠　七
あくまで　鮑迄　七
あぐむ　足組　七
あぐら　胡床　七
あけ　赤　七
あけ　明　七
あげ　上・揚・鯉　八
あけすけ　八
あけび　八
あけぼの　曙　八
あげる　揚　八
あこ　綱子　八
あこ　八
あこ　吾子　八
あこ　彼處　八
あご　頤・脣・顎　八
あこがらす　憧　九
あこがる　憧　九
あこぎ　阿漕　九
あこめ　九
あこや　阿古屋　九
あこう（あこう）　赤魚　九
あこう（あこう）　九
あさ　朝　九
あさ　麻　九
あさ　浅　九
あざ　痣　九
あざ　字　九
あざ　九
あざがい　鮮　九
（あざがひ）　九
あざがお（あさがほ）　牽牛花　九
あざがら　九
あざける　嘲　九
あざざ　荇菜　九
あざし　浅　九
あざつて　九
あざつばら　九
あざて　明後日　九
あざな　字　九
あざなう　九
（あざなふ）　糾　九
あざなわる（あざなはる）　糾　九
あさは　浅　九
あさまし　九
あざむく　欺　九
あざやか　鮮　九
あざやぐ　鮮　九
あさらか　浅　九
あざらか　鮮　九
あざらし　海豹　九
あさり　漁　九
あざる　九
あざる　戯　九
あざれがましき　九
あざわらう（あざわらふ）　嘲笑　九
あし　足・脚　九
あし　葦・蘆　九
あし　惡　九
あじ（あぢ）　味　九
あじ（あぢ）　鯵　九
あしか　葦鹿　九
あじか　貧　九
あじきなし（あぢきなし）　味氣無　九
あしぎぬ　縮　九
あしこ　彼處　九
あじさい（あぢさゐ）　紫陽花　九
あした　朝　九
あしたぐま　九
あしたば　九
あしなえ（あしなへ）　蹇・躄・跛　九
あしび　九
あしらう　九
（あしらふ）　九
あしろ　網代　九
あしろー　漁　九
（あしらふ）　九
あじわい　九
（あぢはひ）　味　九
あす　明日　九
あす　浅　九
あすかり　九
（あづかり）　預　九
あすかる　九
（あづかる）　與　九
あすかる　九
（あづかる）　預　九
あすき（あづき）　小豆　九
あすく（あづく）　九
あすけ（あづけ）　預　九
あすこ　彼處　九
あすさ（あづさ）　九
あずち（あづち）　梓　九
あず　塚　九
あすなろー　九
（あすならう）　九
あすひ　九
あすま（あづま）　吾妻　九
あすま（あづま）　九
あすまや（あづまや）　東屋・四阿　九
あすわひ　九
（あすはひ）　九
あすわひのき（あすはひのき）　九
あせ　汗　九
あぜ　畦　九
あぜ　綜　九
あぜぐむ　汗含　九
あせばむ　汗　九
あせぼ　汗疣　九
あぜみ　九
あせる　彼處　九
あそこ　九
あそばかす　遊　九
あそばす　遊　九
あそび　遊　九
あそぶ　遊　九
あた　仇　九
あだ　仇　九
あだ　徒　九
あたい（あたひ）　價・値　九
あたかも　恰　九
あだけ　仇　九
あだける　仇　九
あたご　愛宕　九
あだし　徒　九
あだしじない　九
あだす　寇　九
あたたか　暖　九
あたたかし　暖　九
あたたけし　暖　九
あたたまり　暖　九
あたたまる　暖　九
あたたむ　暖　九
あたれ　九
あたふた　九
あたま　顕　九
あだめく　仇　九

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

あたら 可惜 五五
あたらし 可惜 五五
あたらし 新 五五
あたり・ 當 五五
あたり 邊 五五
あたる 當・中 五五
あだる 當 五五
あち 彼方 五五
あちやらずけ（あちやらづけ） 五五
あつ 當・中・充 五五
あつ 厚 五五
あつ 熱・暑 五五
あつ 壓 五六
あつ 軋 五六
あつ 遏 五六
あつ 斡 五六
あつかい 五六
（あつかひ）扱 五六
あつかう 五六
（あつかふ）扱 五六
あつかましい 厚 五六
あつがり 暑 五六
あつがる 暑 五六
あつけ 呆氣 五六
あつけなし 五六
あつけらかん 五六
あつさり 六六
あつし 厚子 六六
あつし 熱・暑 六六
あつし 厚・篤・敦 六六
あつたら 可惜 六六
あつち 彼方 六六
あつばれ 六六
あつまり 集 七七
あつまる 集 七七
あつむ 集・聚・纂 七七
あつもの 羹 七七
あつもりそー 七七
（おつもりさう）敦盛草 七七
あつらう 七七
（あつらふ）誂 七七
あて 貴 七七
あて 當 七七
あて 宛 七七
あてがい（あてがひ）宛行 八八
あてがう（あてがふ）宛行 八八
あてばむ 貴 八八
あと 後 八八
あと 跡 八八
あど 八八
あどけなし 八八
あとり 鶺子島 八八
あとー（あたふ）能 四四
あとー（あたふ）奥 四四
あな 穴・孔 八八
あな 八八
あない 案内 九九
あなえぐ（あなへぐ）蹩・躄 九九
あながち 強 九九
あながちに 強 九九
あなぐる 九九
あなぜ 九九
あなた 彼方 九九
あなどる 侮 九九
あに 兄 九九
あれ 豈 九九
あば 姉 九九
あばく 發 九九
あばすれ阿婆擦 九九
あばた 九九
あばら 荒 九九
あばり 網針 九九
あばる 荒 九九
あばれ 暴 九九
あばれる 暴 九九
あびき 網引 三三
あひる 鴨 三三
あぶ 蠶 三三
あぶ 蝨 三三
あぶく 浴 三三
あぶく 泡 三三
あぶご 朸 三三
あぶす 浴 三三
あぶなし 三三
あぶみ 鐙 三三
あぶら 三三
あぶらげ 油揚 三三
あぶり 障泥 三三
あぶり 炙・焙 三三
あふる 溢 三三
あぶる 炙 三三
供・焙・燔・炮 三三
あぶれ 三三
あぶれもの 溢者 三三
あぶれる 溢 三三
あべこべ 三三
あぼす 三三
あほ！（あはう） 三三
阿房・阿呆 三三
あま 尼 三三
あま 海人・蜑 三三
あま 家摩 三三
あま 天 三三
あま 海 三三
あま 雨 三三
あま 甘 三三
あまえたる 三五
あまさえ 三五
（あまさへ）剩 三五
あまし 甘 三五
あます 餘 三五
あまた 數多 三六
あまつさえ（あまつさへ）剩 三六
あまれし 三六
遏・周・曾 三六
あまやかす 三六
あまゆ 甘 三六
あまり 餘 三六
あまりさえ（あまりさへ）餘 三六
あまりに 餘 三六
あまる 餘 三六
あまんず 甘 三六
あみ 網 三六
あみ 三六
あみ 海糠 三六
あみ 編 三六
あみす 浴 三六
あみのき 尼 三六
あむ 編 三六
あめ 天 三六
あめ 雨 三六
あめ 飴 三六
あめ 三七
あめ 鯑 三七
あや 文 三七
あや 綾 三七
あや 漢 三七
あやうし 三七
（あやふし）危 三七
あやかり 肖 三七
あやかる 肖 三七
あやし 怪 三七
あやしぶ 怪 三七
あやしむ 怪 三七
あやす 奴 三七
あやつ 彼 三七
あやつり 操 三七
あやつる 操 三七
あやどる 三七
あやなす 生 三七
あやにく 憎 三七
あやにくに 憎 三七
あやぶむ 危 三七
あやふや 三七
あやまつ 過・寮・曾 三七
あやまり 誤 三七
あやまる 誤 三七
あやむ 菖蒲 三八
あやめ 三八
あやめたむ 三八

あゆ 鮎 元
あゆい（あやひ）足結 元
あゆぐ 搖 元
あゆび 歩 元
あゆぶ 歩 元
あゆみ 歩 元
あゆむ 歩 元
あよぶ 歩 元
あら 新 元
あら 粗 元
あら 荒 元
あら 疎 元
あら 麤魚 元
あらい（あらひ）洗 元
あらう（あらふ）洗 元
あらがう（あらがふ）元
あらかじめ 豫 元
あらく 荒 元
あらくれもの 荒者 元
あらごー（あらがふ）元
あらし 嵐 元
あらし 荒 元
あらし 疎 元
あらす 荒 元
あらそー（あらそふ）爭 元
あらた 新 元
あらた 歩 元
あらたか 歩 元
あらたし 新 元
あらたまる 改 元
あらたむ 改 元
あらぶ 荒 元
あらまし 元
あらゆる 所有 元
あららか 荒 元
あららぎ 蘭 元
あられ 霰 元
あらわに（あらはに）陽 元
あらわかす（あらはかす）現・顯 元
あらわす（あらはす）現・顯・見・彰・旌・表・著 元
あらわにごと（あらはにごと）顯露事 元
あらわる（あらはる）現・顯・著・露 元
あり 蟻 元
あり 有 元
あり 有・在 元
あり 歩 元
ありき 歩 元
ありを 荒磯 元
ありのひふき 元
ありやこりや 荒 元
ある 荒 元
ある 或 元
あるいわ（あるひは）或 元
あるき 歩・歩行 元
あるく 歩・歩行 元
あるじ 主人 元
あるわ（あるは）或 元
あれ 荒 元
あれ 彼 元
あれ 粟 元
あわ（あは）淡 元
あわ 泡・沫 元
あわい（あはひ）間 元
あわし（あはし）淡 元
あわじむすび（あはぢむすび）淡路結 元
あわす（あはす）合 元
あわせ（あはせ）合 元
あわせ（あはせ）合 元
あわせ（あはせ）裕 元
あわただし 遽 元
あわつ 周章・慌 元
あわてもの 周章者・慌者 元
あわび（あはび）鰒 元
あわむ（あはむ）淡 元
あわや（あはや）元
あわれぶ（あはれぶ）憐・憫 元
あわれむ（あはれむ）憐・憫 元
あん 安 元
あん 按 元
あん 案 元
あん 晏 元
あん 鞍 元
あん 暗 元
あん 闇 元
あん 諳 元
あん 黯 元
あん 庵 元
あん 意 元
あん 異 元
あん 移 元
あん 紹 元
あん 鬱 元
あん 行 元
あん 杏 元
あん 鹽 元
あんなか 足半 元
あんべら 元
い 猗 元
い 濟 元
い 遇 元
い 異 元
い 意 元
い 移 元
い 紹 元
い 鬱 元
い 行 元
い 杏 元
い 鹽 元
い 五十 元
い 沃 元
い 鑄 元
い 射 元
い 井 元
い 醴 元
い 寢 元
い 膳 元
い 衣 元
い（ゐ）猪・豕・亥 元
い（ゐ）居 元
い（ゐ）依 元
い（ゐ）伊 元
い（ゐ）壓 元
い（ゐ）韋 元
い（ゐ）渭 元
い（ゐ）違 元
い（ゐ）以 元
い（ゐ）已 元
い（ゐ）圮 元
い（ゐ）夷 元
い（ゐ）易 元
い（ゐ）怡 元
い（ゐ）倚 元
い（ゐ）椅 元
い（ゐ）蝟 元

い(ゐ) 蝟 八四
い(ゐ) 唯 八四
い(ゐ) 椎 八四
い(ゐ) 維 八四
い(ゐ) 委 八四
い(ゐ) 姿 八四
い(ゐ) 遺 八四
い(ゐ) 位 八四
い(ゐ) 威 八四
い(ゐ) 畏 八四
いい(いひ) 飯 三四
いい(いひ) 慨 三四
いい(いひ) 謂 三四
いい(いひ) 言 三四
いいぎり 家 三四
いえ(いへ) 庵 三四
いお(いほ) 庵 三四
いお(いを) 魚 六四
いお(いほ)五百 三四
いおり(いほり) 庵 三四
いおー(いわう) 硫黄 六四
いか 烏賊 三四
いか 五十日 三四
いか 嚴 三四
いかん 如何 三四
いか 如何 三四
いが 鎧 三四
いが(いがひ) 貽貝 三四
いがが 如何 三四
いががわし(いかがはし) 如何 三四
いかき 嚴 三四
いかし 嚴 三四
いかす 活 三四
いかすち(いかづち) 雷 三四
いかだ 筏 三四
いかつし 嚴 三四
いかで 爭 三四
いかないかな 嗟 三四
いがむ 歪 三四
いかめし 嚴 三四
いからかす 怒 三四
いからし 嚴 三四
いからす 怒・瞋 三四
いかり 錨・碇 三四
いかり 怒 三四
いかる 怒・瞋 三四
いく 息 三四
いく 斑鳩 三四
いく 育 三四
いくくむ 郁 三四
いくさ 軍 三四
いき 行 三四
いきおい (いきほひ)勢 三四
いきおー (いきほふ)勢 三四
いきさつ 勢 三四
いきす 活 三四
いきせき 活 三四
いきだわし (いきだはし) 三四
いきどーろ(いきどほろ) 憤 三四
いきなり 息卷・敦圖 三四
いきまく 三四
いきむ 三四
いきる 行 三四
いく 生・活 三四
いく 活 三四
いく 幾 三四
いく 昱 三四
いく 煜 三四
いく 郁 三四
いく 燠 三四
いく 育 三四
いくくむ 三四
いくさ 軍 三四
いくじ(いくぢ) 幾 三四
いぐち 幾 三四
いくつ 幾 三四
いくは 幾 三四
いくら 幾 三四
いぐるみ 幾 三四
いけ 池 三四
いけ 活・生 三四
いけにえ (いけにへ)牲 三四
いごく 動 三四
いこー(いこふ) 息 三四
いさ 三四
いざ 三四
いさお(いさを) 勳 三四
いさおし (いさをし)勳 三四
いさおし (いさをし)功 三四
いさかう (いさかふ)諍 三四
いさぎよし 潔 三四
いさご 砂 三四
いさき 三四
いさざ 三四
いささか 些・聊 三四
いささめ 三四
いざなう (いざなふ)誘 三四
いさば 五十集 三四
いさまし 勇 三四
いさみ 勇 三四
いさむ 勇 三四
いさむ 練 三四
いさよい (いさよひ) 三四
いさよう(いさよふ) 猶豫 三四
いさよー(いさよふ) 猶豫 三四
いさら 三四
いさらい (いさらね) 三四
いさらい(ゐさらひ) 臀 八四
いさり(ゐさり) 漁 三四
いさり 漁 三四
いざり(ゐざり) 居去 八四
いさろ 漁 三四
いざろ(ゐざろ) 居去 八四
いざんまい(ゐざんまひ) 居樣 八四
いし 石 三四
いじくる (いちくろ) 三四
いじける (いちける) 三四
いしすえ (いしずゑ) 礎 三四
いしま 蹠 三四
いしむ 蹠 三四
いじめる (いちめる) 三四
いじらしい (いちらしい) 三四
いじろ(いちろ) 三四
いす 柞 三四
いす(いづ) 出 八四
いすえ(いづ〜) 何處 八四
いすかし (いづかし)厳 八四
いすかた(いづかた) 何方 八四
いすく(いづく) 何處 八四
いすくんか(いづくんか) 安 八四
いすくんぞ

(いづくんぞ)爲・安・奚　四九
いずこ(いづこ)何處　四九
いずし(いづし)何地　四九
いすすぐ　四九
いずち(いづち)何地　四九
いずひ(いづみ)泉　四九
いずも(いづも)出雲　四九
いずら(いづら)　四九
いずれ(いづれ)何　四九
いせる　四九
いそ　磯　四九
いそいそ　五十　四九
いそう(いそふ)　四九
いそがし　忙　四九
いそがす　急　四九
いそがねし(いそかはし)　急　四九
いそぎ　急　四九
いそし　勤　四九
いそしむ　勤　四九
いそめく　急　四九
いそー(いそふ)　挑　四九
いたー　板　四九
いた　痛　四九
いたいけ　四九
いたく　抱・懷　四九
いたけし　痛　四九
いたこぶし　潮來節　四九
いだこー(いだかふ)抱　四九
いたし　甚　四九
いたし　痛　四九
いだし　出　四九
いたす　歌　四九
いだす　出　四九
いたずく(いたづく)勞　四九
いたずら(いたづら)徒　四九
いただき　頂　四九
いただく　戴　四九
いたち　鼬・鼬鼠　四九
いたつがわし(いたつがはし)　四九
いたって　至　四九
いたどり　虎杖　四九
いたび　木蓮子　四九
いたぶ　痛　四九
いたぶる　四九
いたまし　傷　四九
いたむ　痛　四九
いたむ　撓　四九
いためがわ(いためがは)撓・革　四九
いためつける　痛　四九
いためる　煉　四九
いたり　至　四九
いたる　至・到　四九
いたわし(いたはし)勞　四九
いたわる(いたはる)勞　四九
いち　一　四九
いち　壹　四九
いち　市　四九
いち　遇　四九
いちあし　遯足　四九
いちい(いちひ)　櫟　四九
いちくさ　蓐　四九
いちご　苺　四九
いちじるし　著　四九
いちじろし　著　四九
いちはやし　遙遠　四九
いちはやぶ　遙遠　四九
いちび　蒴藋　四九
いちぶ　蒴藋　四九
いちもち　遙物　四九
いちもつ　遙物　四九
いちよー(いてふ)銀杏・公孫樹　四九
いつ　稜威　四九
いつ　一　四九
いつ　遙　四九
いつ　佚　四九
いつ　乙　四九
いつ　溢　四九
いつ　鷸　四九
いつ　五　四九
いつ　何時　四九
いつき　齋　四九
いつく　齋　四九
いつくし　嚴・美　四九
いつくしぶ　慈愛　四九
いつくしむ　慈愛　四九
いつそ　五　四九
いつつわる(いつはる)　偽・詐　四九
いで　四九
いでたち　出立・扮裝　四九
いと　絲　四九
いと　最　四九
いとう(いとふ)　厭　五
いとおし　厭　五
いとほし(いとほし)愛　五
いとおしむ(いとほしむ)愛　五
いときなし　幼　五
いとけ　幼氣　五
いとけし　幼　五
いとこ　從兄・從弟・從姉・從妹　五
いとし　愛　五
いとど　五
いとど　五
いとし　五
いとなし　暇無　五
いとなむ　營　五
いとま　暇　五
いとまし　五
いとみごと　挑事　五
いどむ　挑　五
いとめ　眼目　五
いとわし　(いとはし)厭　五
いとー(いとふ)　厭　五
いな　鯔　五
いな　稻　五
いな　否　五
いなか(ゐなか)田舍　五
いなる　五
いなす　往　五
いなだき　頂　五
いななく　嘶　五
いなのめ　五
いなぶ　辭　五
いなむ　辭　五
いなむしろ　蓐席　五
いなる　嗇　五
いにしえ　(いにしへ)古　五
いぬ　犬・狗　五
いぬ　戌　五
いぬ　寐　五
いぬ　往　五
いぬい(いぬゐ)　五
いぬ　乾　五
いね　稻　五
いのこ(ゐのこ)

猪・豕・亥 八三
いのこずち（ぬのこづち）牛膝 八三
いのしし（ぬのしし）猪 八三
いのしりぐさ（ぬのしりぐさ）猪尻草 八三
いのち 命 三
いのる 祈・禱 三
いばゆ 嘶 三
いばら 茨 三
いばり 尿 三
いばる 威張 三
いびき 鼾 三
いびつ 歪 三
いびる 苛 三
いぶかし 訝 三
いぶかる 訝 三
いぶす 燻 三
いぶせし 鬱 三
いぶる 燻 三
いぼ 疣 三
いぼる 疣 三
いぼー（いぼふ）疣 三
いま 今 三
いまいまし 忌・忌 三
いまき 湯巻 三
いまし 汝 三
いましめ 戒・警 三
います 在・座 三
いさをー（いまさふ）在 三
いまだ 未 三
いまだし 未 三
いまめかし 今 三
いまめく 今 三
いまわし（いまはし）忌 三
いまわる（いまはる）齋 三
いみ 忌・齋 三
いみじ 諱 三
いみな 忌 三
いむ 齋 三
いめ 夢 三
いも 芋・諸・薯・蕷 三
いもー（いもふ）齋 三
いもーと（いもうと）妹 三
いもと 妹 三
いらか 甍 三
いらす 苛 三
いらつ 苛 三
いららく 苛 三
いり 炒・煎・熬 三
いる 入 三
いる 炒・煎・熬 三
いる 沃 三
いる 鑪 三
いる 射 三
いる（ぬる）居 八三
いる（ぬる）率・帥・將 八三
いるか 海豚 三
いれ 入 三
いろ 色 三
いろ（いろふ）色 三
いろく（いはく）曰 三
いろく 童 三
いろく 綺 三
いろくず（いろくづ）鱗 三
いろこ 鱗 三
いろめかし 色 三
いろー（いらふ）色 三
いろー（いらふ）膿 三
いわ（いは）岩 三
いわ（いは）石 三
いわい（いはひ）祝 三
いわい（いはひ）齋 三
いわう（いはふ）祝 三
いわう（いはふ）齋 三
いわお（いはほ）巌 三
いわく（いはく）曰 三
いわく（いはく）音 三
いわく 喧 三
いわく 痛 三
いわぐっ（いはぐっ）陰 三
いわけなし（いはけなし）隱 三
いわけなし（いはけなし）殷 三
いわし 鯛 三
いわびと（いはびと）家人 三
いわむ（いはむ）音 三
いわゆる（いはゆる）所謂 三
いわれ（いはれ）謂 三
いわんや（いはんや）況 三
いん 因 三
いん 咽 三
いん 姻 三
いん 茵 三
いん 氤 三
いん 九 三
いん 印 三
いん 引 三
いん 淫 三
いん 顧 三
いん 音 三
いん 喧 三
いん 痛 三
いん 陰 三
いん 隱 三
いん 殷 三
いん 慇 三
いん 飲 三
いん 淫 三
いん 胤 三
いん 黄 三
いん（ぬん）鶯 三
いん（ぬん）隕 八三
いん（ぬん）韻 八三
いん（ぬん）院 八三

う

うい（うひ）初 十六
うい（うゐ）茴 十六
うい 飢・饑・餓 空
うえ（うへ）上 十五
うえ（うゑ）植 十六
うえ（うゑ）飢・餓 十九
うお（うを）魚 十九
うか 浮 空
うが（うがひ）嗽 空
うがい（うがひ）
（うがひ）
うかがう（うかがふ）伺 空
うかがふ）窺・覗・伺 空
うかごー（うかがふ）窺・覗・伺 空
うかす 浮 空
うかつ 窣 空
うかび 浮 空
うかぶ 浮 空
うかむ 浮 空
うから 族 空
うかり 浮 空
うかる 浮 空
うかれ 浮 空
うき 憂 空
うく 浮 空
うく 受・承・請 空
うぐい（うぐひ）石斑魚 空
うぐいす（うぐひす）鶯 空
うけ 浮 空
うけ 受・請 空
うけがう（うけがふ）諾 空
うけたまわる（うけたまはる）承 空
うごかす 動・搖・撼 空
うごき 動 空
うごく 動・搖・撼 空
うごめかす 蠢 空
うごめく 蠢 空
うこん 鬱金 空
うき 憂 空
うぎうぎ 空
うきぐ 空
うきん 胡散 空
うし 兎 空
うし 牛 空
うし 丑 空
うし 憂 空
うじ（うぢ）蛆 空
うじ 氏 空
うしお（うしほ）潮 空
うしとら 長 空
うしなう（うしなふ）失・亡・喪 空
うしのー（うしなふ）失・亡・喪 空
うじやうじや 空
うしろ 後 空
うす 白 空
うす 薄 空
うす 失 空
うず（うづ）渦 空
うずく（うづく）疼 空
うずくまる（うづくまる）蹲 空
うすし 薄・淡 空
うすだかし（うづだかし）堆 空
うすつく 舂 空
うずまる（うづまる）埋 空
うずみ（うづみ）埋 空
うずむ（うづむ）埋 空
うすもの 羅 空
うすもる（うづもる）埋 空
うずら（うづら）鶉 空
うすらか 薄 空
うすらぐ 薄 空
うせ 失 空
うそ 嘘 空
うそ 嘘 空
うたう（うたふ）諳・謳 空
うたい（うたひ）歌 空
うたい（うたひ）歌・謠・唄 空
うたう（うたふ）訴 空
うたがい（うたがひ）疑 空
うたがう（うたがふ）疑 空
うたがわし（うたがはし）疑 空
うたぐる 疑 空
うたた 轉 空
うだる 茹 空
うち 内 空
うち 打 空
うちかけ 袿・擂 空
うちわ（うちは）團扇 空
うつ 抨 空
うつ 撲 空
うつ 打・討 空
うつ 鬱・欝 空
うつ 蔚 空
うつうつ 空
うつかり 空
うつぎ 空木・卯木 空
うつく 空
うつくし 愛・美 空
うつけ 空
うつし 移・寫・映 空
うつす 移・寫・映 空
うつすら 空
うつすり 空
うつつ 現 空
うつとー 空
うつとしい（うつたふ）訴 空
うつとり 空
うつばり 梁 空
うつぶく 俯向 空
うつぶす 俯伏 空
うつぼ 靫・空穂 空
うつむく 俯向 空
うつらうつら 空
うつり 移・映 空
うつる 移・寫・映 空
うつろ 空 空
うつわ（うつは）器 空
うで 腕 空
うてな 臺 空
うてな 萼 空

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

うてる　茹　七三
うでる　茹　七三
うど　七三
うとうと　七三
うとうとし　疎疎　七三
うとし　疎　七三
うとぶ　疎　七三
うとまし　疎　七三
うとむ　疎　七三
うどん　温飩・饂飩　七三
うとんず　疎　七三
うな　項　七三
うな　海　七三
うなう（うなふ）　耡　七三
うながす　促　七三
うなぎ　鰻・鱧　七三
うなさる　蹇　七三
うなじ　項　七三
うなずく（うなづく）　頷・點頭　七三
うなだる　項垂　七三
うなり　唸　七三
うなる　唸　七三
うに　海膽・海栗・雲丹　七三
うぬ　汝　七三
うぬぼる　自惚　七三
うれ　畝・畦　七三
うれうれ　七三
うれくれ　七三
うれくる　七三
うれくれる　七三
うれり　七三
うれる　七三
うのー（うなふ）　耡　七三
うむ　豆腐皮　七三
うば　七三
うばう（うばふ）　奪　七三
うぶ　産　七三
うべ　宜　七三
うま　馬　七三
うま　午　七三
うま　旨・甘・美　七三
うまき　牧　七三
うまごやし　苜蓿　七三
うまし　旨・美・甘　七三
うますめ　不産女　七三
うまや　廐　七三
うまや　驛　七三
うまる　埋　七三
うまる　生・産　七三
うまれ　生・産　七三
うみ　海　七三
うみ　膿　七三
うみく　生・産　七三
うみ　績　七三
うむ　生・蔬　七三
うむ　倦　七三
うむ　熟　七三
うむ　績　七三
うむ　埋　七三
うめ　梅　七三
うめ　埋　七三
うめく　呻　七三
うもる　埋　七三
うもれ　埋　七三
うや　禮　七三
うやうやし　恭　七三
うやす　飢　七三
うやまう（うやまふ）　敬　七三
うやもー（うやまふ）　敬　七三
うらー　裏・裡　七三
うらー　占・卜　七三
うらー　浦　七三
うらー　末　七三
うもうら　七三
うらない（うらなひ）　占・卜　七三
うらみ　恨・怨　七三
うちむ　恨・怨・憾　七三
うらむらくわ（うらむらくは）　恨・憾　七三
うらやまし　羨　七三
うらやむ　羨　七三
うららけし　七三
うり　瓜　七三
うり　賣　七三
うりょー（うれふ）　憂・愁　七三
うる　糶　七三
うる　賣　七三
うる　閑　七三
うるおす　七三
うるおー（うるほふ）　潤　七三
うるける　潤　七三
うるさし　五月蠅　七三
うるし　漆　七三
うるち　糠　七三
うるむ　潤　七三
うるめいわし　潤目鰯　七三
うるわし　七三
うるはし（うるはし）　麗　七三
うれ　賣　七三
うれい（うれひ）　憂・愁　七三
うれう（うれふ）　憂・愁　七三
うれし　嬉　七三
うれしがる　嬉　七三
うれる　賣　七三
うろ　虚・空　七三
うろうろ　鱗　七三
うろこ　七三
うろたえる（うろたへる）　七三
うろつく　七三
うわ（うは）　上　七三
うわこと（うはこと）　讒語　七三
うわさ（うはさ）　噂　七三
うわばみ（うはばみ）　蟒　七三
うわる　植　七三
うん　運　七三
うん　云　七三
うん　穀　七三
うん　雲　七三
うん　転　七三
うん　温　七三
うん　蘊　七三
うん　鰛　七三
うん　韓　七三
うんこ　七三
うんざり　七三
うーろんこーち　七三
うーろんちや　烏龍紅茶　七三
うーろんちや　烏龍茶　七三

え

え　枝・肢・柄　七三
えー　榎　七三
えー　椎　七三
えー　江　七三
えー　得　七三
えー　吉　七三
えー　衣　七三
えー　依　七三
え（ゑ）　笑　七三
え（ゑ）　餌　七三
え（ゑ）　會　七三
え（ゑ）　繪　七三
え（ゑ）　穢　七三
え（ゑ）　衛　七三
え（ゑ）　惠　七三
え（ゑ）　烏　七三
え（ゑ）　回　七三

えい 榮 八〇
えい 瑩 八〇
えい 營 八〇
えい 營 八〇
えい 螢 八〇
えい 瀛 八〇
えい 盈 八〇
えい 楹 八〇
えい 永 八〇
えい 詠 八〇
えい 映 八〇
えい 英 八〇
えい 瑛 八〇
えい 嬰 八〇
えい 纓 八〇
えい 瓔 八〇
えい 瀛 八〇
えい 穎 八〇
えい 齊 八〇
えい 醫 八〇
えい 銳 八〇
えい 穢・穀 八〇
えい 影 八〇
えい 郢 八〇
えい 曳 八〇
えい(ゑい) 衛 八〇
えい(ゑひ) 醉 八〇
えう(ゑふ) 醉 八〇
えがらし(ゑがらし) 蘂 八〇
辛・黄辛・醜辛
えき 液 八〇
えき 掖 八〇
えき 腋 八〇
えき 役 八〇
えき 疫 八〇
えて 繹 八〇
えと 驛 八〇
えな 易 八〇
えなめる 益 八〇
えに 奕 八〇
えにし 緣 八〇
えにしだ 金雀枝 八〇
えれるぎー 木の き 楔木・楔 八〇
えのご 痤 八〇
えのころぐさ(ゑ のころぐさ) 狗尾草 八〇
えば 海老 八〇
えび 衣被・葉 八〇
えび 皮・裏衣香 八〇
えびす 夷 八〇
えびする(えび づる) 蕗 八〇
えだ 枝 八〇
えぞ 蝦夷 八〇
えを(ゑを) 鰐 八〇
えつ 謁 八〇
えつ 悅 八〇
えつ 閱 八〇
えつ(ゑつ) 越 八〇
えて 得 八〇
えてる 得 八〇
えと 干支 八〇
えな 胞衣 八〇
えなめる 緣 八〇
えに 緣 八〇
えにし 緣 八〇
えにしだ 金雀枝 八〇
えれるぎー 木の き 楔木・楔 八〇
えのご 痤 八〇
えのころぐさ(ゑ のころぐさ) 狗尾草 八〇
えば 海老 八〇
えび 衣被・葉 八〇
えび 皮・裏衣香 八〇
えば(ゑば) 餌 八〇
えび 海老 八〇
えん 宴 八〇
えん 奄 八〇
えん 掩 八〇
えん 淹 八〇
えん 醃 八〇
えん 閻 八〇
えん 沿 八〇
えん 鉛 八〇
えん 炎 八〇
えん 咽 八〇
えん 煙 八〇
えん 閼 八〇
えん 燕 八〇
えん 焰 八〇
えん 苑 八〇
えん 園 八〇
えん 圓 八〇
えん 猿 八〇
えん 遠 八〇
えん 轅 八〇
えん 陌 八〇
えん 捐 八〇
えん 檐・簷 八〇
えん 淵 八〇
えん 垣 八〇
えん 塩 八〇
えん 寃 八〇
えんじゅ(ゑんじゅ) 槐 八〇
えんま(ゑんま) 閻魔 八〇
えーてる 厭 八〇
おう 鷗 八〇
おう 緣 八〇
おう 鸚 八〇
おう 御 八〇
おう 阿 八〇

お(を)　緒　八三
お(を)　麻・苧　八三
お(を)　尾　八三
お(を)　雄・牡・男　八三
お(を)　小　八三
お(を)　汚・汙　八三
お(を)　惡　八三
お(を)　嗚　八三
おあか　御垢　八七
おあし　御足　八七
おあん　御庵　八七
おい　老　八七
おい(をい)　八四
おい(おひ)　笈　一〇〇
おい(おひ)　負　一〇〇
おい(おひ)　追・逐　一〇〇
おい(おひ)　生　一〇一
おい(をひ)　甥・姪　八七
おいえ(おいへ)　御家　八八
おいしい　おいしい　八八
おいて　於　八八
おいで　御出　八八
おいてきぼり　八八
おいでる　御出　八八
おう(おふ)　負　一〇二
おう(おふ)　追・逐　一〇二
おう(おふ)　生　一〇二
おうえさき(おうへさき)　御上様　八八
おお(をふ)　終・卒・畢　八七
おおし(おふし)　唖・痴　一〇二
おおじ(おほぢ)　祖父　一〇九
おおー(おほふ)　覆・被・蓋・掩　一〇五
おか(をか)　岡・阜・丘・陵・陸　八四
おか(をか)　傍　八四
おが　大鋸　八八
おかいこぐるみ(おかひこぐるみ)　御蠶指　八九
おかげ　御蔭　八八
おかざり　御飾　八八
おかし　八八
おかし　犯　八八
おかし(をかし)　可笑　八四
おかす侵・犯・冒　八八
おかず　御數　八八
おかた　御方　八八
おかちん御搗飯　八八
おかぶ　御株　八八
おかべ　御壁　八八
おかまこーろぎ(おかまこほろぎ)　御竈蟋蟀　八八
おかみ　御上　八八
おがみ(をがみ)　拜　八四
おがむ(をがむ)　拜　八四
おかめ御亀・阿亀　八八
おかわ(おかは)　御厠　八八
おかん　御燗　八八
おき　沖　八八
おき　奥　八八
おき　熾・熾　八八
おき　置　八八
おき　起・興　九〇
おき(をき)　荻　八四
おきて　掟　九〇
おきな　翁　九〇
おきない(おきなひ)　補　九〇
おきなう(おきなふ)　補　九〇
おきぬう(おきぬふ)　補　九〇
おきのろ　贈　九〇
おきのー(おきなふ)　補　九〇
おきまり　御極　九〇
おぎむし(をきむし)　八四
おきめ　御決　九〇
おきやがりこぼし　起上小法師　九〇
おきやん　御俠　九〇
おきよ　御清　九〇
おく　奥　八八
おく　置　九一
おく　起　九一
おく　億　九一
おく　臆　九一
おく(をく)　屋　八四
おくす　臆　九一
おくつき　墳墓　九一
おくて　脱稲　九一
おくび　衽・袵　九一
おくび　欠　九一
おくまる　奥　九一
おくみ　衽・袵　九一
おくらかす　後　九一
おくらす　後　九一
おくり　送・贈　九一
おくりな　諡　九一
おくる　送・贈　九一
おくる　後　九一
おくれ　後　九一
おけ(をけ)　桶　八四
おこ　御兒　九二
おこ　御蠶　九二
おこがまし(をこがまし)　八四
おこし　御越　九二
おこし　粗・粗　九二
おこし(をこし)　八四
おこす　驕　八四
おこす　起・興　九二
おこせ(をこせ)　驕　八四
おこそ　殿　九二
おこそすきん(おこそづきん)　御高祖頭巾　九二
おこたり　怠　九二
おこたる　怠　九二
おこと　御事　九二
おこない(おこなひ)　行　九二
おこなう(おこなふ)　行　九二
おこなわる(おこなはる)　行　九二
おこのー(おこなふ)　行　九二
おこり　起　九二
おこり　瘧　九二
おこる　起・興　九二
おこる　激・驕・奢　九二
おこわ(おこは)　御強　九二
おこー(おかう)　御鶏　八八
おさ(をさ)　長　八四
おさ(をさ)　城・筈　八四
おさ　御・座　九二
おさえ(おさへ)　抑・抑　九二
おさおさ(をさをさ)　八四
おさがり　御下　九二
おさき　御先　九二

おさげ　御下　九三
おさし　御差　九三
おさじ　御匙　九三
おさしき御座敷　九三
おざす(をざす)　建　八四
おさだまり御定　九三
おさな(をさな)　幼　八四
おさなし(をさなし)幼　八四
おさなびる(をさなびる)　八五
おさまる(をさまる)治・修・收・納・斂　八五
おさむ(をさむ)　治・修・理・收・納・斂・藏　八五
おさらば　九三
おさん　—三　九三
おし　唖　九三
おし　押・推・壓　九三
おし　御師　九四
おし(をし)驚　八五
おし(をし)愛・惜　八五
おじ(おぢ)　怖　九六
おじ(おぢ)祖父　九六
おじ(おぢ)伯父・叔父・大兄・小男　八五
おじう(をしふ)　教・訓　八五
おしえ(をしへ)　教・訓　八五
おしがる(をしがる)惜　八五
おしがわ(をしがは)章　八五
おしき(をしき)　折敷　八五
おじき(をぢき)　伯父君・叔父君　八五
おじぎ　御辭儀　八四
おしずまる(おしづまる)御靜　八四
おしむ(をしむ)　愛・惜・吝　八五
おしむむらくわ(をしむらくは)惜　八五
おしめ　御襁褓　八四
おれしやべり
おしやらく

御酒落　九四
おじやる　御座　九四
おしゆー(をしふ)　教・訓　八五
おしよく　御職　九四
おしろい　白粉　九四
おす　押・推・壓　九四
おす(をす)　牡　八五
おす(おづ)　怖　九七
おせち　御節　九四
おぜん　御膳　九四
おそ　遲　九四
おぞ　鉈　九四
おそ(をそ)　獺　八五
おそ(をそ)　嘘　八五
おそう(おそふ)　襲　九五
おぞけ　恐氣　九五
おそし　遲　九五
おそなえ(おそなへ)　御供　九五
おそば　御側　九五
おそらくわ(おそらくは)恐　九五
おそる恐・長・懼　九五
おそれ　恐・虞　九五
おそろし　恐　九五
おそわる(おそはる)壓　九五
おそわる(をそはる)教　八五
おそー(おさふ)　押・抑　九三
おそー(おそふ)　襲　九五
おぞーん　襲　九五
おだい　御臺　九五
おたいこ御太鼓　九五
おたがじやくし　九五
おたから　御寶　九五
おたくら　九五
おたずれ(おたづれ)　御尋　九五
おだつ　煽　九五
おたび　御旅　九五
おたふく　阿多福・御多福　九五
おだぶつ御陀佛　九五
おたまじやくし　九五
おたまや御靈屋　九五
おため　御爲　九五
おだやか　穏　九六

おち　落　九六
おちいる　陷　九六
おちど(をちど)　越度　八五
おちのひと　御乳人　九六
おちぶる　零落　九六
おつ　乙　九六
おつ　落　九六
おつ　押　九七
おつ　追　九七
おつ(をつ)　越　八五
おつかいはれて(をつかいはれて)　八五
おつかない　九七
おつくー(おつくふ)　億劫　九七
おつけ　御浸　九七
おつけはれて(をつけはれて)　八五
おつしやる　仰　九七
おつと　九七
おつと(をつと)　夫　八五
おつと(をつと)　八五
おつとせい

腦脳獣　九七
おつとめ　御勤　九七
おつむ　御頭　九七
おでこ　御—　九七
おでだま御手玉　九七
おてまえ(おてまへ)御手前　九七
おでまし御出座　九七
おでん　御田　九七
おてんば御轉婆　九七
おと　音　九七
おと　弟　九七
おと　乙　九七
おどおど　九八
おとがい(おとがひ)頤　九八
おどかす威・嚇　九八
おとぎ　御伽　九八
おどく　九八
おとこ(をとこ)　男　八五
おとこぶ(をとこぶ)男　八五
おとこらし(をとこらし)男　八五
おどけ　九八
おとし　落　九八

おどし 威 九
おどし(をどし) 九
おとしいる 陷 九
おとす 落 九
おどす 威・嚇 九
おとする 九
(おとづる)訪 九
おとずれ 九
(おとづれ)訪 九
おとつい(をとつひ)一昨日 九
おとと 弟 九
おとと(をとと)一昨日 九
おとなし(をとなし)一昨年 九
おとなし 大人 九
おとなしやか 大人 九
おとのー 九
(おとなふ)音 九
おとぼれ 頽骨 九
おどましおどましみすわり(おどむ(をどむ) 九
おとめ(をとめ) 洗濯 九
おとも 少女 九
おとも 御供 九
おとり 劣 九
おとり(をとり) 囮 九
おどり(をどり) 踊・躍 九
おどる(をどる) 踊・躍 九
おどれ 已 九
おどろかす 驚 九
おどろく 驚 九
おどろー(おどろふ)衰 九
おとー と 九
(おとうと)弟 九
おないどし 同年 九
おなか 御中 九
おながれ 御流 九
おなご(をなご) 女子 九
おなごらし(をなごらし)女子 九
おなじ 同・仝 九
おなじく 同 九
おなで 御撫 九
おなら 屁 九
おなり 御成 九
おなんど御納戸 九
おに 鬼 九
おぬし 御主 一〇八
おの 已 一〇八
おの(をの)斧 一〇七
おのおの 各 一〇八
おのこ(をのこ) 男子 一〇七
おのすから(おのづから)自 一〇八
おのすと(おのづと)自 一〇八
おのーく(をのーく) 一〇七
おのれ 已 一〇八
おば 親母 一〇八
おば(をば)伯母 一〇七
おはぎ 御萩 一〇八
おはぐろ御齒黑 一〇八
おばけ 御化 一〇八
おはこ 御箱 一〇八
おはち 御鉢 一〇八
おはもじ 御は文字 一〇八
おはらい(おはらひ) 御祓 一〇八
おはり 御針 一〇八
おび 帶 一〇一
おひき 御引 一〇一
おひきずり 御引摺 一〇一
おびく 誘 一〇一
おひげ 御鬚 一〇一
おびただし 夥 一〇一
おひつ 御櫃 一〇一
おひと 御人 一〇一
おひなる御豐成 一〇一
おひや 御冷 一〇一
おびやかす 脅・劫 一〇一
おひやくど 御百度 一〇一
おひやらかす 一〇一
おびゆ 怯 一〇一
おひらき 御開 一〇一
おひんなる 御貴成 一〇一
おぶ 轡・佩 一〇一
おふく御福・阿福 一〇一
おふくろ 御袋 一〇一
おぶさる 一〇一
おぶー(おぶふ) 負 一〇一
おへや 御部屋 一〇一
おぼえ 覺 一〇四
おぼこ 愚 一〇五
おぼし 思 一〇五
おぼす 思 一〇五
おぼつかながる 覺束無 一〇五
おぼつかなし 覺束無 一〇五
おぼゆ 覺 一〇五
おぼらかす 溺 一〇五
おぼらす 溺 一〇五
おぼる 溺 一〇五
おぼれじに溺死 一〇五
おぼろ 朧 一〇五
おぼーす 一〇五
(おぼほす)思 一〇五
おまえ(おまへ) 御前 一〇六
おまけに 一〇六
おます 御坐 一〇六
おまむきさま 御眞向樣 一〇六
おまわり(おまはり) 御回 一〇六
おみ 御身 一〇六
おみ 大御 一〇六
おみこし大御輿 一〇六
おみな(をみな)女 一〇七
おむ 膃 一〇六
おむすめご 御娘御 一〇六
おむつ 御襁褓 一〇六
おむら 御紫 一〇六
おめ 御目 一〇六
おめおめ 阿容阿容 一〇六
おめぐり 御回 一〇六
おめし 御召 一〇六
おめむし 臆蟲 一〇六
おも 面 一〇六
おも 重 一〇六
おもい(おもひ) 思 一〇七
おもい 思人 一〇七
おもえらく(おもへらく)思・意・謂・以爲・謂爲 一〇九
おもさま 思樣 一〇七
おもし 重 一〇七
おもし 重 一〇七
おもだか 澤瀉 一〇七
おもたし 重 一〇七
おもたせ 御持 一〇七
おもちや 玩具 一〇七
おもて 面 一〇七

おもて　表　一七七
おもと　萬年青　一〇七
おもと　御許　一〇七
おもねる　阿　一〇七
おもむき　趣　一〇九
おもむく　赴　一〇九
おもむろ　徐　一〇九
おもらか　軍　一〇九
おもり　重　一〇九
おもる　重　一〇九
おもわく　（おもはく）思　一〇七
おもわく　思惑　一〇九
おもわし　（おもはし）思　一〇七
おもわす　（おもはす）思　一〇七
おもわせぶり（おもはせぶり）　思振　一〇七
おもんす　重　一〇九
おもんばかる　慮　一〇九
おもんみる　惟　一一〇
おもんみるに　惟　一一〇
おもー（おもふ）　思・想・顧・懷・惟　一〇九
おもーに（おもふに）　思・意・謂・想・以・顧・惟　一〇九
おや　親　一一〇
おや　御禮　一一〇
おやま（をやま）　岳　一一〇
おゆ　老　一一〇
およぐ　泳・游　一一〇
およそ　凡　一一〇
およばれ道羽子　一一〇
および　及　一一〇
およぶ　及　一一〇
およぼす　及　一一〇
およる　御夜　一一〇
およんなる　御夜成　一一〇
おら　己　一一〇
おら（をら）　我　一一七
おらんだ　和蘭・阿蘭陀　一一〇
おり　織　一一一
おり　下　一一一
おり（をり）　折　一一七
おり（をり）　檻　一一八
おり（をり）　居　一一八
おり（をり）　織　一一一
おる　下・降　一一一
おる（をる）　折　一一八
おれ　己　一一一
おれ（をれ）　折　一一八
おれい　御禮　一一一
おろ　愚　一一一
おろか　疎・愚　一一一
おろかし　卸・下　一一一
おろし　卸・下　一一一
おろす　疎　一一一
おろそか　疎　一一一
おろち（をろち）　巨蛇　一一八
おわします（おはします）御坐　一一〇
おわす（おはす）　御在　一一〇
おわる（をはる）　終・卒・畢・了　一一七
おん　御　一一一
おんな　愚　一一一
おんな　音　一一一
おんな　隱　一一一
おんな　慇　一一一
おんな　飲　一一一
おん　陰　一一一
おん（をん）　濕　一一八
おん（をん）　盧　一一八
おんなし　（をんなし）女　一一八
おんならし（をんならし）女　一一八
おんば　御乳母　一一一
おんばこ　卓前　一一一
おんぶ　負　一一一
おんむん　諺文　一一一
おー（あう）　央　一一二
おー（あう）　決　一一二
おー（あう）　快　一一二
おー（あう）　秋　一一二
おー（あう）　殃　一一二
おー（あう）　鞅　一一二
おー（あう）　益　一一二
おー（あう）　盧　一一三
おー（あう）　奥　一一二
おー（あう）　懊　一一二
おー（あう）　襖　一一二
おー（あう）　鶯　一一二
おー（あう）　櫻　一一二
おー（あう）　往　一一二
おー（あう）　桜　一一二
おー（あう）　笹　一一二
おー（あう）　黄　一一二
おー（わう）　横　一一二
おー（わう）　泉　一一二
おー（をう）　蘇　一一二
おー（をう）　一一二
おー（をふ）　會・過・逢・遭　一一三
おー（あふ）　鍛　一一三
おー（あふ）　蘆　一一三
おー（あふ）　敢　一一三
おー（あふ）　嗚　一一三
おー（おう）　歐　一一三
おー（おう）　毆　一一三
おー（おう）　顧　一一三
おー（おう）　謳　一一三
おー（おう）　鷗　一一三
おー（おう）　應　一一三
おー（おう）　爛　一一三
おー（おう）　奥　一一三
おー（おふ）　追・逐　一一三
おー（おふ）　生　一一三
おー（おほ）　大　一一三
おー（わう）　王　一一三
おー（わう）　往　一一三
おー（わう）　桜　一一三
おー（わう）　笹　一一三
おー（わう）　黄　一一三
おー（わう）　横　一一三
おー（わう）　泉　一一三
おー（をう）　蘇　一一三
おー（をう）　一一三
おー（をふ）　終・卒・畢　一一七
おーいに　（おほいに）大　一一四
おーがい　（おほがひ）貝　一一四
おーかみ　（おほかみ）狼　一一四
おーき（おほぎ）　扇　一一三
おーきし　（おほきし）大　一一四
おーきに　（おほきに）大　一一四
おーぐ（あふぐ）　貝　一一四

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com